

リスキリングを通じたキャリアアップ支援事業 五次公募

審査委員からの総評コメント

五次公募で受け付けた申請について、審査項目ごとに、審査委員からいただいた総評コメントを公開致します。六次公募以降の申請の際の参考として、ご活用ください。

審査項目	コメント
<p>ア. 提案内容において、ターゲット層の課題・ニーズ及び転職先の産業・企業の課題・ニーズが適切に把握されており、それらを繋ぐ一貫性のある取組内容（キャリア相談対応、リスキリング提供、転職支援）となっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単に人気のあるリスキリングコンテンツから提案内容を考えるのではなく、技術の変化に伴い新たに求められるスキルや、転職先で必要とされるスキル・資質を精緻に分析・理解していることが提案内容から読み取れることが望ましい。 労働市場で求められるスキルを具体的に把握した上で、当該スキルの習得へのニーズを有する支援対象の人材像を明確化することなどにより、想定するターゲット層と産業・企業の課題・ニーズが一貫していることが読み取れる提案であることが望ましい。
<p>イ. 各プロセス（広報、キャリア相談対応、リスキリング提供、転職支援）で質を高めるための工夫がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 広報に関しては、提案内容において、既存の採択事業者による広報の取組と比較して、差別化し得る取組の工夫が読み取れることが望ましい。 キャリア相談対応においては、従事者が転職先に関する業界知識や専門性を有しているとともに、ターゲット層の特性に応じた相談支援の内容に関する工夫が読み取れる内容が望ましい。 リスキリング提供については、座学による講座受講だけでなく実践的な経験が提供されることや、離脱防止のための具体的な取組が行われることなどの工夫が読み取れる提案であることが望ましい。
<p>ウ. 提案内容を実施するに当たって、実現性が高い実施体制、スケジュール、支出計画等になっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> スケジュールにおいて、リスキリング講座の受講に要する期間に加えて、転職支援に要する期間を考慮し、実際の転職活動を想定して実現可能なスケジュールを立てることが望ましい。 計上している経費の必要性や費用対効果が説得的に説明されていることが望ましく、特に申請事業者の規模に比して提案内容の規模が大きい場合や広告費を計上する場合は、より丁寧に説明されていることが望ましい。
<p>エ. 本事業により特に高い成果が期待できるか（社会に与えるインパクト、リスキリング講座やサービスの新規性・独創性、転職率、類似事業での実績、賃金引上げの度合い等）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 社会的なニーズの大きい人材不足産業や成長産業への労働移動を意識した提案が行われることが望ましい。 地方からの申請が増加している点は評価できるが、特定の地域でサービスを提供する場合は、当該地域特有の課題やニーズを踏まえた提案が行われていることが望ましい。 従来の自社事業の内容と同一内容の提案にとどまらず、本事業を通じて従来の自社事業を超える社会的インパクトを創出することを意識し、本事業ならではの独自の取組や付加価値を生む工夫が盛り込まれた提案が行われることが望ましい。

※本総評コメントは、今後の提案に役立てていただくため、委員審査の中で、提案に当たって考慮されていることが望ましいとされたポイント、他の提案と差別化を図ることができる可能性があると考えられたポイント、低い評価となる恐れのあるポイントをまとめたものです。委員審査の内容は非公開であり、本コメントについてのご質問にはお答えすることはできませんので、ご了承ください。